

篠山東雲高生 研究成果を発表

ウサギ毛刈り時短など

丹波篠山市の県立篠山東雲高校の生徒による課題研究などの成果発表会が17日、同市の市民センターで開かれ、3年生20人が12のテーマを報告した。

農業の授業で疑問に感じたことなどをテーマにして研究した。

さん(18)とさん(18)



は、校内で飼育する「日本アンゴラ種」のウサギの毛刈り時間短縮などについて

の研究結果を披露した。

日本アンゴラ種は毛が長く、半年に1回の毛刈りに3時間近くかかることがあ
るが、毎月にすると大幅に
作業時間が短縮できるだけ
でなく、「毛質が向上し、
毛玉やごみの絡まりが少な
くなる」と説明。毛を巻い
た缶に湯を注いで実験する
と、巻いていない場合に比

ウサギの毛刈り時間などに
ついての研究成果を発表す
る生徒(丹波篠山市で)

べて温度が下がりにくく、
保温能力があることを実証
した。

さんは発表後、「毛
刈りが大変だったので研究
した。成果を出せて3年間
の良い思い出になった」と
話した。

このほか、長期保存でき
る和菓子や酒かすのフー
ドロス減らすためのマドレ

ーヌの製造、肥育牛の食欲
不振の解明などの研究が紹
介され、保護者や市民ら約
50人が熱心に聴いていた。

2026年1月18日

読売新聞